

砂糖の国内生産

砂糖は、さとうきびやてん菜からつくられています。さとうきび、てん菜の生産は、鹿児島県南西諸島、沖縄県そして北海道の地域経済・雇用の確保に重要な役割を果たしています。



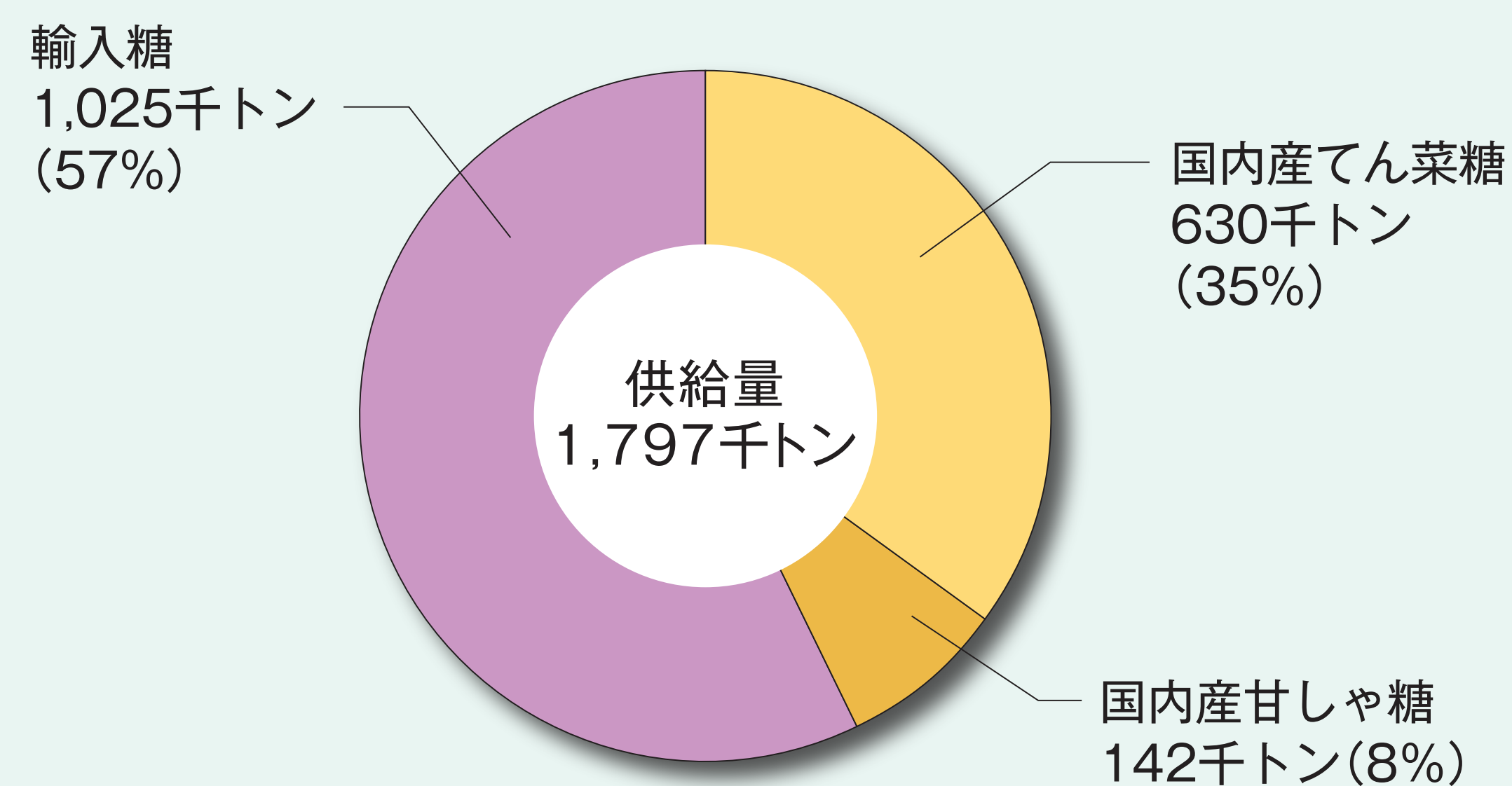
日本の砂糖の自給率は
どれくらいですか？

ANSWER

日本の砂糖の消費量は約180万トンであり、このうち約4割が日本国内で生産されたさとうきびやてん菜を原料にしてつくられています。残りの約6割は海外から輸入した粗糖が、日本の工場で精製され、つくられています。令和2年産(令和2年10月～3年9月)の砂糖の自給率は43%です。

また、砂糖は国民の摂取カロリー全体の約8%を占めており、国内で安定的に生産し、適正な価格で、かつ安定的に供給することは極めて重要です。

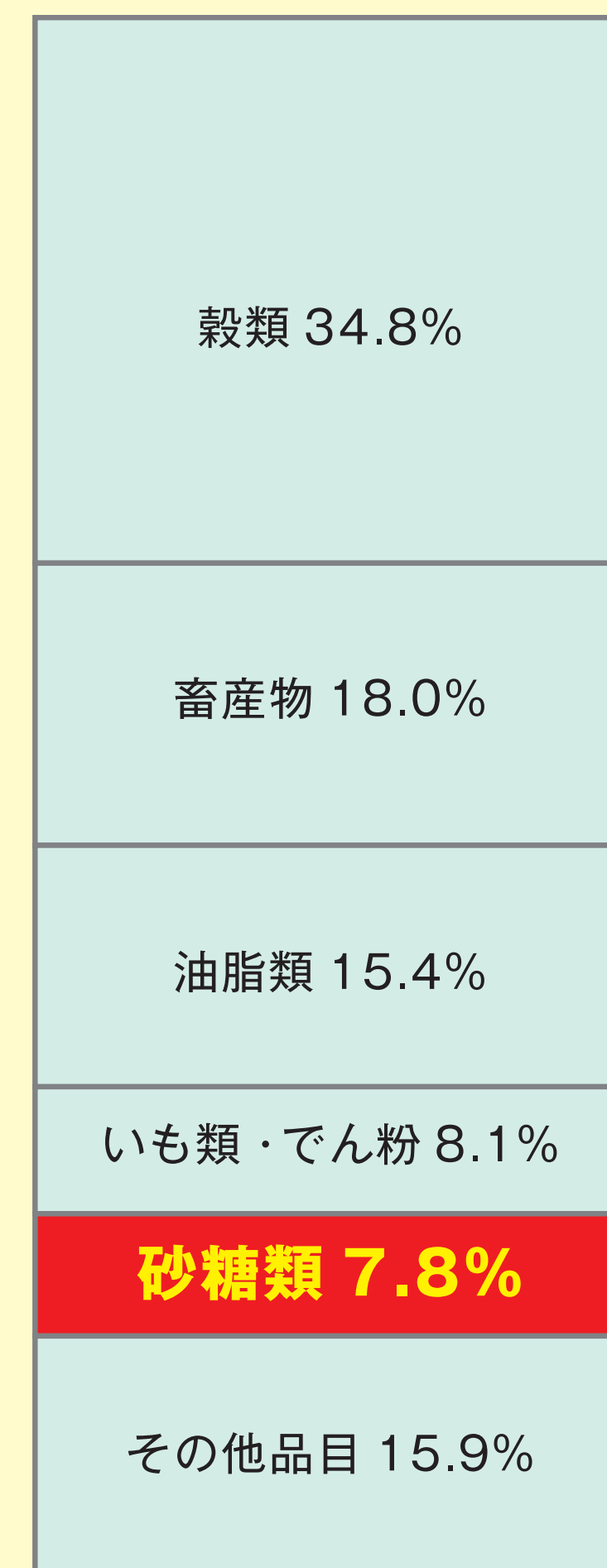
砂糖の国内供給量(令和2年産)



出典:農林水産省農産局地域作物課調べ



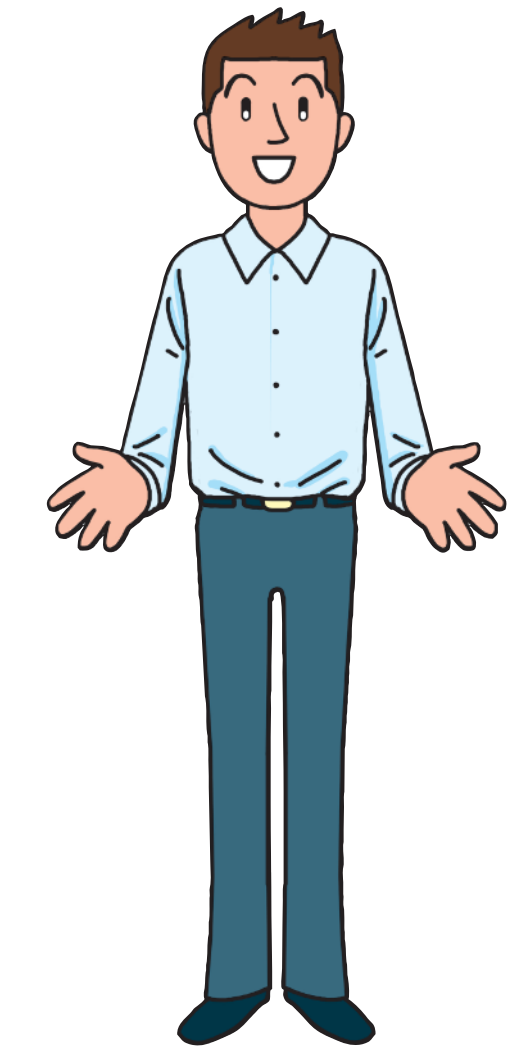
国民1人・1日当たりの供給熱量
(令和2年度:2,269kcal)



出典:農林水産省「食料需給表」(令和2年度)



砂糖の原料になる
さとうきびとてん菜は、
日本のどこで
つくられているのですか？



alic
独立行政法人 農畜産業振興機構

ANSWER(さとうきび)

さとうきびは暖かい気候を好むため、日本では鹿児島県の南西諸島や沖縄県の島々で栽培されています。

鹿児島県南西諸島・沖縄県の農家の約83%(約1万9千戸)がさとうきびを栽培しています。さとうきびの栽培面積は畑の面積の約44%(約2万7900ha)を占め、農業産出額の約35%を占めています。

さとうきびの位置づけ(令和2年産)

	栽培農家 (戸)	栽培面積 (ha)	農業産出額 (億円)
鹿児島県南西諸島	6,825(78%)	11,000(41%)	116(33%)
沖縄県	12,597(85%)	16,900(46%)	187(36%)
計	19,422(83%)	27,900(44%)	303(35%)

出典:農林水産省農産局地域作物課調べ。
()内はそれぞれの地域の農家数、畑面積、耕種部門産出額に占める割合。



ANSWER(てん菜)

てん菜は寒冷な気候を好むため、日本では北海道で栽培されています。

北海道の畑作農家の約19%(約7千戸)がてん菜を栽培しています。てん菜の栽培面積は畑の面積の約14%(約5万6700ha)を占め、農業産出額の約8%を占めています。

てん菜の位置づけ(令和2年産)

	栽培農家 (戸)	栽培面積 (ha)	農業産出額 (億円)
北海道	6,793(19%)	56,749(14%)	407(8%)

出典:農林水産省農産局地域作物課調べ。
()内は北海道における農家数、畑面積、耕種部門産出額に占める割合。

